

2009年度

科目名	教科教育法特論		
担当教員	金川 廣一郎		
配当	教福3	コード	25170
開期	後期	講時	火曜日5限
単位数			2
授業テーマ	国語科の授業づくりについて、具体的な方法を実践によって学ぶ		
目的と概要	授業の概要と目標 実践的指導力をつけることを第一の目的とする。 1. 授業や教材分析の基礎となる理論を学ぶ 2. 授業の組み立て方や具体的な手だてなどを、指導案の作成から学ぶ 3. 模擬授業を通して、指導技術の向上と授業の見方について学ぶ		
成績評価法	平常点(25%) 課題の提出状況(25%) レポート(25%) 模擬授業などへの参加状況(25%)		
テキスト	特に指定はしません。適宜資料を配付します。		
参考書	講義時に随時指示します。		
履修に当たっての注意・助言	教育実習での経験をもとに実践的な面をさらに詳しく学びます。様々な場面での積極的な参加を期待しています。また、教師として備えねばならない資質を高めるための課題を随時課します。		
講義計画			
1. オリエンテーション	講義の進め方、国語科授業の基本		
2. 授業づくりと教材研究について	実習での国語科授業、授業の組み立て、教材の見方、領域の関連		
3. 授業づくりと教材研究について	児童のとらえ方、学習指導案の形式、指導上の手だての発想		
4. 演習(1) 教材研究	物語文教材と説明文教材、それぞれの特性		
5. 演習(2) 模擬授業1	模擬授業と検討会		
6. 演習(3) 授業設計1	板書計画、発問・助言・指示、作業の設定などについて		
7. 演習(4) 模擬授業2	模擬授業と検討会		
8. 演習(5) 授業設計2	教材研究の方法と評価		
9. 演習(6) 模擬授業3	模擬授業と検討会		
10. 演習(7) 授業設計3	指導案・細案・掲示物・配布物・評価などについて、		
11. 「実践アクセス講義」(ゲスト・ティーチャー) 現職の先生による講義「学習集団の形成について」			
12. 演習(8) 模擬授業4	模擬授業と討議会		
13. 演習(9) 授業設計4	授業の分析方法と活動の設定		
14. 演習(10) 模擬授業5	模擬授業と討議会		
15. まとめ	授業全般を振り返ってのまとめとレポート作成		